

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170100350		
法人名	ジンフィールド株式会社		
事業所名	グループホーム シニアライフ本庄		
所在地	佐賀市本庄町大字鹿子9-3		
自己評価作成日	令和2年5月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和2年5月29日	外部評価確定日	令和2年6月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・理念にもあるように「人としての尊厳を大切に、明るく・楽しく・安心して暮らせる環境の提供を目指します。」を念頭に、ご利用者様の表情や気持ちが穏やかであるよう、職員はご利用者様とのコミュニケーションや職員同士のコミュニケーションを図るよう努めています。また協力医療機関やかかりつけ薬局との連携をとり、ご利用者様の病状把握と異常時の早期発見、早期対応ができ、心身ともにご利用者様、ご家族様に安心して頂けるサービス提供を目指しています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>市の中心より離れた自然環境のいい場所である。車の往来は多いが騒音は気にならない。ホーム内は明るく利用者は思い思いに過ごされている。ユニットは廊下で繋がり、自由に行き来され気分転換になっている。広場には桜並木があり散歩や花見も出来、片隅には近所の方の畑があり野菜を栽培され利用者は季節を感じ収穫を楽しみにされている。また野菜を頂くこともある。職員と利用者、職員と家族、職員同志のコミュニケーションもよく働きやすい事業所である。管理者は利用者の安定した生活が当たり前のように居られるように体の安定を強く意識されている。</p>

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、ご利用者様に状態把握の申し送り後に棟毎で事業所理念、社の行動指針、棟目標を唱和し、共有及び実践につなげている。	毎朝、ご利用者様に状態把握の申し送り後に棟毎で事業所理念、社の行動指針、棟目標を唱和し、共有及び実践につなげている。	理念も「尊厳、楽しく、明るく、安心」を引き続き使用され、両棟の台所に掲示されている。朝、両棟の夜勤者の申し送り後理念、行動指針、各棟の目標等唱和される。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年2回、当事業所で「オレンジカフェ」開催、また2ヶ月に1回の運営推進会議を実施し日常的な交流につなげている。その中で地域の方が開催する老人会に参加させていただいたりなど、交流が広がることもあり、今後も継続していきたい。	年2回、当事業所で「オレンジカフェ」開催、また2ヶ月に1回の運営推進会議を実施し日常的な交流につなげている。その中で地域の方が開催する老人会に参加させていただいたりなど、交流が広がることもあり、今後も継続していきたい。	自治会に加入し、回覧板で町内の行事を知る事が出来る。年1回中学生の体験学習で折り紙やクイズ、知り合いの方の歌や踊りの提供でふれあいを楽しんでいる。又年1回のオレンジカフェの開催には町民が参加しミニ講座も開かれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	オレンジカフェのミニ講座や地域の老人会にスタッフとして参加させていただき、物忘れ防止や簡単な体操等で、支援方法を伝えることができています。	オレンジカフェのミニ講座や地域の老人会にスタッフとして参加させていただき、物忘れ防止や簡単な体操等で、支援方法を伝えることができています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施している運営推進会議では、サービスの実際を写真提供し取り組みや状況等の報告を行っている。推進会議委員の方からの意見があったときは取り組み実践に活かしている。	2ヶ月に1回実施している運営推進会議では、サービスの実際を写真提供し取り組みや状況等の報告を行っている。推進会議委員の方からの意見があったときは取り組み実践に活かしている。	会議には各棟のご家族の代表が参加し、意見交換が行われ、必要に応じて改善や対応をされる。今年には新型コロナウイルスの影響で職員のみで実施され、推進委員の方には会議録と共に新型コロナウイルスについての資料が送られた。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者と保険者には、実情を伝え、情報共有や相談など行い、助言を頂いたりしながら、事業所として地域交流や協力関係の視野や幅が広がるよう努めている。	市町村担当者と保険者には、実情を伝え、情報共有や相談など行い、助言を頂いたりしながら、事業所として地域交流や協力関係の視野や幅が広がるよう努めている。	市には生活保護受給者の生活状況報告や中部広域と連携し事業所の実情や利用状況等情報交換されている。空き情報は本部の営業で管理されている。体験入居も受け入れ、中学生の職場体験学習も実施されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	新人職員には入職時、及びそのほか月1回の全体ミーティング時や定期的な社内研修会で全職員に身体拘束をしない三原則と高齢者虐待の区分を繰り返し学習し、正しい理解とケアに取り組んでいる。	新人職員には入職時、及びそのほか月1回の全体ミーティング時や定期的な社内研修会で全職員に身体拘束をしない三原則と高齢者虐待の区分を繰り返し学習し、正しい理解とケアに取り組んでいる。	入居時に家族に身体拘束について説明され、職員には研修も行われる。家族の希望で車椅子にベルト(ずり落ち防止の為)もあったが職員はこの状況が早く改善するよう様子をみながら話し合っている。赤外線センサーマットの居室もある。職員は研修により身体拘束の禁止や弊害についても理解されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	新人職員には入職時、及びそのほか月1回の全体ミーティング時や定期的な社内研修会で全職員に身体拘束をしない三原則と高齢者虐待の区分を繰り返し学習し、正しい理解とケアに取り組み、防止に努めている。	新人職員には入職時、及びそのほか月1回の全体ミーティング時や定期的な社内研修会で全職員に身体拘束をしない三原則と高齢者虐待の区分を繰り返し学習し、正しい理解とケアに取り組み、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事情や成年後見制度については、身体拘束・高齢者虐待の研修時にあわせて学ぶ機会を設けている。	日常生活自立支援事情や成年後見制度については、身体拘束・高齢者虐待の研修時にあわせて学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時や解約時は十分な説明を行い、相違が発生しないよう努めており、理解・納得を図っている。	契約締結時や解約時は十分な説明を行い、相違が発生しないよう努めており、理解・納得を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様やご家族様が意見、要望を出された場合は、管理者が職員と話し合い、個別の対応が望ましい時は個別対応を行い、運営に反映されている。外部者へ表せる機会は運営推進会議や年1回の敬老会で伝え反映させている。	利用者様やご家族様が意見、要望を出された場合は、管理者が職員と話し合い、個別の対応が望ましい時は個別対応を行い、運営に反映されている。外部者へ表せる機会は運営推進会議や年1回の敬老会で伝え反映させている。	意見箱は設置しているが利用はない。家族の意見は面会時や電話の時間が多く、入居の際の持ち込み物や差し入れ、衣類等に対する意見には丁寧に説明されている。要望や意見は会議で検討され改善されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案は日常的に聞く機会を設け、反映させ、ご利用者様の生活環境や職員の業務がスムーズにいくよう実施している。	職員の意見や提案は日常的に聞く機会を設け、反映させ、ご利用者様の生活環境や職員の業務がスムーズにいくよう実施している。	日頃から職員は問題点や感じた事の提案がある。利用者の食事の自助食器や職員が動き易く出来る様改善されている。申し送りノートは職員で共有している。レクリエーションや行事の様子は写真に残され、家族に請求書と共に送られる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者も現場に入り、業務の状況(ご利用者様の生活状況)を把握し、職員個々の努力や実績、勤務状況の把握、職員の体調把握を行っており、必要時は代表者へ報告を行い、各自が意欲や向上心を持って働ける職場環境・条件の整備につなげている。	管理者も現場に入り、業務の状況(ご利用者様の生活状況)を把握し、職員個々の努力や実績、勤務状況の把握、職員の体調把握を行っており、必要時は代表者へ報告を行い、各自が意欲や向上心を持って働ける職場環境・条件の整備につなげている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員一人ひとりのケアの実際と力量の把握に努め、社内外の研修に行ける日程を知らせ、機会の確保に努め、また新規のご利用者様のケア方法は全職員で話し合い、実施している。	管理者は職員一人ひとりのケアの実際と力量の把握に努め、社内外の研修に行ける日程を知らせ、機会の確保に努め、また新規のご利用者様のケア方法は全職員で話し合い、実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は代表者と話し合いする機会を多く設け、医療、福祉、地域、保険者などの関係各所を連携を図り、サービスの質を向上する取り組みを行っている。	管理者は代表者と話し合いする機会を多く設け、医療、福祉、地域、保険者などの関係各所を連携を図り、サービスの質を向上する取り組みを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新規利用については、初めにご利用者様、及びご家族様と管理者・介護支援専門員・看護師・各棟ホーム長と話し合い、ご利用者様が安心して生活を送れるような関係作りに努めている。	新規利用については、初めにご利用者様、及びご家族様と管理者・介護支援専門員・看護師・各棟ホーム長と話し合い、ご利用者様が安心して生活を送れるような関係作りに努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	新規利用については、初めにご利用者様、及びご家族様と管理者・介護支援専門員・看護師・各棟ホーム長と話し合い、ご利用者様が安心して生活を送れるような関係作りに努めている。	新規利用については、初めにご利用者様、及びご家族様と管理者・介護支援専門員・看護師・各棟ホーム長と話し合い、ご利用者様が安心して生活を送れるような関係作りに努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	新規利用については、初めにご利用者様、及びご家族様と管理者・介護支援専門員・看護師・各棟ホーム長と話し合い、必要時には他のサービスも直ぐに対応出来るようにし、ご利用者様が安心して生活を送れるような関係作りに努めている。	新規利用については、初めにご利用者様、及びご家族様と管理者・介護支援専門員・看護師・各棟ホーム長と話し合い、必要時には他のサービスも直ぐに対応出来るようにし、ご利用者様が安心して生活を送れるような関係作りに努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様が意欲を持って生活できる様、残存機能の把握やできることの提供を行い、生活を共にする関係を築くよう努めている。	ご利用者様が意欲を持って生活できる様、残存機能の把握やできることの提供を行い、生活を共にする関係を築くよう努めている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様にご利用者様の生活に充分関わって頂ける様、生活状況の報告や意見を伺う機会を設け、ご利用者様の生活を共に支えている関係を築くよう努めている。	ご家族様にご利用者様の生活に充分関わって頂ける様、生活状況の報告や意見を伺う機会を設け、ご利用者様の生活を共に支えている関係を築くよう努めている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人との面会などが多くあり、関係が途切れないような支援に努めている。	ご利用者様本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人との面会などが多くあり、関係が途切れないような支援に努めている。	近所や、友人の面会は多い。面会は居室やリビングで思い思いに楽しまれている。職員は面会者を把握され、その際はお茶等の接待している。墓参りや法事、結婚式には家族の協力がある。訪問の少ない方には電話で連絡し繋がりを大切にしている。携帯持参の方は自由に連絡を取り合っている。現在新型コロナウイルスの影響で面会は玄関で窓越しでの対応である。間もなく解除の予定である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様同士の関係を把握し、孤立することなく、必要時には職員が間に入り、話題の提供や変更などで、楽しみが持て、充実感を持った関わりあいできる様な支援に努めている。	御利用者様同士の関係を把握し、孤立することなく、必要時には職員が間に入り、話題の提供や変更などで、楽しみが持て、充実感を持った関わりあいできる様な支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、何かあれば相談して頂ける様な働きかけと他の事業所へ移られても、面会に行くことや移られた事業所の職員の方へ経過をたずねたりなどの支援に努めている。	契約が終了しても、何かあれば相談して頂ける様な働きかけと他の事業所へ移られても、面会に行くことや移られた事業所の職員の方へ経過をたずねたりなどの支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所時に本人が判断できなければご家族へ思いや暮らし方の希望、意向の把握を行い、その環境が継続できるよう支援に努めている。	入所時に本人が判断できなければご家族へ思いや暮らし方の希望、意向の把握を行い、その環境が継続できるよう支援に努めている。	朝、顔の曇り気度で表情を知る事が出来る。1日の流れの中で食事の事や心配はないか等の話を聞いている。裁縫をする人、工作、歌、歩行訓練等自分にあった事を思い思いされている。思わぬ言葉や態度で様子を知る事もあり、共有すべき事、気づきの点は申し送りノートに記載される。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に本人が判断できなければご家族へ思いや暮らし方の希望、意向の把握を行い、その環境が継続できるよう支援に努めている。	入所時に本人が判断できなければご家族へ思いや暮らし方の希望、意向の把握を行い、その環境が継続できるよう支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの1日の過ごし方、心身状態の把握、有する能力の把握に努め、サービス提供を実施している。一日の詳細な記録、排泄リズムや身体や病状に影響しない嗜好の提供など。	一人ひとりの1日の過ごし方、心身状態の把握、有する能力の把握に努め、サービス提供を実施している。一日の詳細な記録、排泄リズムや身体や病状に影響しない嗜好の提供など。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入所時のアセスメントでご利用者様、ご家族様の主訴を把握し、意向に添って介護計画作成をしている。また今迄培ってきた生活習慣や価値観を大切に介護計画作成や必要な関係者との話し合いも実施し、意識し計画作成に努めている。	入所時のアセスメントでご利用者様、ご家族様の主訴を把握し、意向に添って介護計画作成をしている。また今迄培ってきた生活習慣や価値観を大切に介護計画作成や必要な関係者との話し合いも実施し、意識し計画作成に努めている。	担当制である。担当者会議に家族が参加し利用者と家族の要望や主治医との意見を反映させ申し送りノートも参考にし現状に合ったケアプランを作成される。変化がある場合は現状に合わせ変更されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の日々の生活記録は心身ともに本人さまの個別性を重視した記録記入を行い、職員間でも早期の情報共有できるよう、連絡ノートを活用している。情報が行き渡ることが出来、介護計画の見直しに活かしている。	利用者様の日々の生活記録は心身ともに本人さまの個別性を重視した記録記入を行い、職員間でも早期の情報共有できるよう、連絡ノートを活用している。情報が行き渡ることが出来、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	新規入所者に対してはアセスメントにてニーズを把握し、本人さまやご家族様の状況に応じ、体験入所で取組んだり、既存のご利用者様も本人さまやご家族様との関わりの中でその時々生まれたニーズに検討し、柔軟な支援やサービスにつなげている。	新規入所者に対してはアセスメントにてニーズを把握し、本人さまやご家族様の状況に応じ、体験入所で取組んだり、既存のご利用者様も本人さまやご家族様との関わりの中でその時々生まれたニーズに検討し、柔軟な支援やサービスにつなげている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域支援事業所、地区役員、近隣の住人の方などとの交流で地域資源を把握し、また入所者の方の昔ながらのお付き合いをされている方を招いての歌や踊りの行事、職員やご家族様が紹介して頂くボランティアの方との交流などで積極的に行い、安全で楽しむ暮らしに繋がるよう支援している。	地域支援事業所、地区役員、近隣の住人の方などとの交流で地域資源を把握し、また入所者の方の昔ながらのお付き合いをされている方を招いての歌や踊りの行事、職員やご家族様が紹介して頂くボランティアの方との交流などで積極的に行い、安全で楽しむ暮らしに繋がるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は本人さまやご家族様と相談しながら、希望や要望にて協力医療機関やその他の医療機関を受診や往診にて対応を実施し、適切な医療を受けられるよう支援している。また受診、往診にて特変があった場合は速やかにご家族へ連絡し、看護介護にて健康及び病状管理を行い、本人さま、ご家族様に安心して頂ける様支援している。	受診は本人さまやご家族様と相談しながら、希望や要望にて協力医療機関やその他の医療機関を受診や往診にて対応を実施し、適切な医療を受けられるよう支援している。また受診、往診にて特変があった場合は速やかにご家族へ連絡し、看護介護にて健康及び病状管理を行い、本人さま、ご家族様に安心して頂ける様支援している。	本人、家族の希望される医療機関の受診であるが協力医が多い。往診は月2回あり、看護師が週1回薬の調整をしている。薬は母体の薬局から配達される。受診には前もって連絡をとり職員の同行もあり、その結果は家族に報告されている。歯科は訪問診療で対応。毎月の健康便りに受診の結果も報告されている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護士は日常の関わりでの心身の変化に気付いたときは一人の職員で判断せずに、他の職員やホーム長、管理者との観察や確認を行い、必要時は直ぐに看護師へ相談できる体制を構築しており、早期発見対応に繋がるよう努めている。	介護士は日常の関わりでの心身の変化に気付いたときは一人の職員で判断せずに、他の職員やホーム長、管理者との観察や確認を行い、必要時は直ぐに看護師へ相談できる体制を構築しており、早期発見対応に繋がるよう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	御利用者様が入院時は、定期的に面会に行き、病院関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)へ現在の状態等の聞き取りを行っている。日常的に必要な時は直ぐに対応して頂ける様な関係作りは出来ている。	御利用者様が入院時は、定期的に面会に行き、病院関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)へ現在の状態等の聞き取りを行っている。日常的に必要な時は直ぐに対応して頂ける様な関係作りは出来ている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所者様は高齢者がほとんどのため、入所契約時に急変時の同意書を十分な説明を行ったあと、署名捺印を頂いている。また「重度化した場合及び看取り介護に関する指針」に関する同意書も合わせて説明後、署名・捺印を頂き、極力、環境が変わらず住み慣れた場所で継続して過ごして頂ける様、関係各所でチーム支援に取り組んでいる。	入所者様は高齢者がほとんどのため、入所契約時に急変時の同意書を十分な説明を行ったあと、署名捺印を頂いている。また「重度化した場合及び看取り介護に関する指針」に関する同意書も合わせて説明後、署名・捺印を頂き、極力、環境が変わらず住み慣れた場所で継続して過ごして頂ける様、関係各所でチーム支援に取り組んでいる。	看取りに関する指針や対応について入居時に説明される。看取りの実績はないが家族の思いに寄り添い事業所で出来る事を支援する。勉強会も行われ職員の体制も出来ている。日々変化する中でその状況に至った際には担当医と家族と連携を取りながらマニュアルに添い支援する。途中家族の気持ちが変わる事も考慮し段階的に話し合い事業所で出来ることを支援する。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様が急変された事を想定して、緊急連絡網の作成や夜間帯でも直ぐに対応出来る職員を配置し、職員間で常に想定、実践できるよう努めている。	利用者様が急変された事を想定して、緊急連絡網の作成や夜間帯でも直ぐに対応出来る職員を配置し、職員間で常に想定、実践できるよう努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防署指導、指示にて、避難訓練、避難自主訓練を実施している。また避難誘導時の搬送順を共有し、近隣タクシー会社様へも周知・協力も得て、迅速、安全な避難訓練を実施している。	年2回、消防署指導、指示にて、避難訓練、避難自主訓練を実施している。また避難誘導時の搬送順を共有し、近隣タクシー会社様へも周知・協力も得て、迅速、安全な避難訓練を実施している。	年2回夜間想定を含めた訓練である。うち1回は消防署の指導を受け職員、利用者全員参加。地域住民の参加はないが近くの事業所からの参加はある。防火管理者を決め1日1回日常点検、月1回定期点検を行っている。避難場所は家族も周知され、備蓄は本部に準備されている。いざと言う時には職員だけでは限界があるので住民の参加と地域の消防団の参加を期待したい。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護については、契約時に「個人情報使用同意書、及び肖像権についての同意書」を頂いている。サービス提供時は一人ひとりの人格や価値観を尊重し、傾聴、受容を行いながら実践している。特に排泄や入浴など、羞恥心に配慮し、実施している。	プライバシー保護については、契約時に「個人情報使用同意書、及び肖像権についての同意書」を頂いている。サービス提供時は一人ひとりの人格や価値観を尊重し、傾聴、受容を行いながら実践している。特に排泄や入浴など、羞恥心に配慮し、実施している。	年1回接遇の研修を行い、特に言葉使いには気を付けている。日頃のケアの中で利用者に分かり易く伝わる様に佐賀弁も上手く取り入れ理解されている。職員同志の言葉使いで気になるところは管理者が指導している。個人情報や書類の扱い方もきちんと保管されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御利用者様の事業所での生活リズムに配慮し、支援の押し付けとならないよう、希望や思いの表現ができ、自己決定できるよう、声掛け、レクリエーションの誘いやお手伝いなども交え、充実感が得れるような働きかけを行っている。	御利用者様の事業所での生活リズムに配慮し、支援の押し付けとならないよう、希望や思いの表現ができ、自己決定できるよう、声掛け、レクリエーションの誘いやお手伝いなども交え、充実感が得れるような働きかけを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者様の事業所での生活リズムやペースに配慮し、支援の押し付けとならないよう、日々をどのように過ごしたいか、声掛け、レクリエーションの誘いやお手伝いなども交え、希望に沿い充実感が得られるよう支援している。	御利用者様の事業所での生活リズムやペースに配慮し、支援の押し付けとならないよう、日々をどのように過ごしたいか、声掛け、レクリエーションの誘いやお手伝いなども交え、希望に沿い充実感が得られるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月1回の理美容利用で、散髪、整髪、毛染めなどの身だしなみやおしゃれができるよう、また女性では化粧をする方が数名おられるので、化粧品が消耗すればご家族の了承を得て、買い物代行を行い、身だしなみやおしゃれが継続できるよう支援している。	毎月1回の理美容利用で、散髪、整髪、毛染めなどの身だしなみやおしゃれができるよう、また女性では化粧をする方が数名おられるので、化粧品が消耗すればご家族の了承を得て、買い物代行を行い、身だしなみやおしゃれが継続できるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎朝、1日のメニューを御利用者様と確認し、ミキサー食の方へもメニューを伝えて提供している。また身体的に食事の準備や後片付けが出来る御利用者様には無理のない程度で職員と一緒にいき、食事は食欲が継続するよう、栄養バランスや盛り付け、彩りに配慮している。食事の他に楽しみのアクセントとなるように、おやつもバリエーションを考え提供している。	毎朝、1日のメニューを御利用者様と確認し、ミキサー食の方へもメニューを伝えて提供している。また身体的に食事の準備や後片付けが出来る御利用者様には無理のない程度で職員と一緒にいき、食事は食欲が継続するよう、栄養バランスや盛り付け、彩りに配慮している。食事の他に楽しみのアクセントとなるように、おやつもバリエーションを考え提供している。	材料のみを業者より取り寄せ、栄養士が献立を作成。おやつ作りや今年はおせち料理を作った。利用者は残存機能を活かし、懐かしい白い「かっぱ一ぎ」をつけ出来る事を手伝っている。職員は中に入り介助し、見守りながら、検食を食べている。湯呑や箸は持ち込みの物。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様ごとに口腔内状態を把握し、咀嚼・嚥下しやすい食事形態(キザミ・粥や軟食、ミキサー食等)で提供を行っている。水分量も毎回計量し、適切な水分摂取ができるよう支援している。水分が入りづらい方には飲み物の種類や提供時間を変更して提供している。	利用者様ごとに口腔内状態を把握し、咀嚼・嚥下しやすい食事形態(キザミ・粥や軟食、ミキサー食等)で提供を行っている。水分量も毎回計量し、適切な水分摂取ができるよう支援している。水分が入りづらい方には飲み物の種類や提供時間を変更して提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者様ごとに口腔内状態を把握し、毎食後、口腔ケアの促し、声掛け、必要時は介助を行い、口腔内の清潔保持ができるよう支援している。(誤嚥性肺炎や歯周病予防、及び進行予防)	利用者様ごとに口腔内状態を把握し、毎食後、口腔ケアの促し、声掛け、必要時は介助を行い、口腔内の清潔保持ができるよう支援している。(誤嚥性肺炎や歯周病予防、及び進行予防)		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	全利用者様に定期的な排泄の促しや確認、交換を実施し、一人ひとりの排泄リズムが把握できるよう、排泄チェック表も利用し支援に努めている。排泄機能(便尿意)が保たれているご利用様には全介助の方でもリズムよく排泄ができるよう、トイレ使用を二人介助で行うなど実践している。	全利用者様に定期的な排泄の促しや確認、交換を実施し、一人ひとりの排泄リズムが把握できるよう、排泄チェック表も利用し支援に努めている。排泄機能(便尿意)が保たれているご利用様には全介助の方でもリズムよく排泄ができるよう、トイレ使用を二人介助で行うなど実践している。	排泄チェック表によりタイミングを見て誘導し見守っている。夜間はポータブル使用の方もあり赤外線センサーマットで様子を知る事が出来ている。排便については主治医と相談し水分補給、消化のいい食物、牛乳は毎日飲用するように心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて、排便・排尿の把握を行い、便秘時には飲食物の工夫、歩行訓練、毎朝の体操や看護師指導にての腹部マッサージや入浴等で自然排便ができ、爽快感が得れるよう、個々の状態に応じ、取り組んでいる。	排泄チェック表にて、排便・排尿の把握を行い、便秘時には飲食物の工夫、歩行訓練、毎朝の体操や看護師指導にての腹部マッサージや入浴等で自然排便ができ、爽快感が得れるよう、個々の状態に応じ、取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	事業所での基本的な入浴時間は決めているものの、声掛けにて気分的な入浴拒否などがあった場合は無理強いせず、しばらく時間を置いての声掛けや翌日の入浴に変更し、入浴時は障害物への配慮や体調を観ながら、ゆっくり入浴して頂き、安心して満足感や楽しみの時間となるよう努めている。	事業所での基本的な入浴時間は決めているものの、声掛けにて気分的な入浴拒否などがあった場合は無理強いせず、しばらく時間を置いての声掛けや翌日の入浴に変更し、入浴時は障害物への配慮や体調を観ながら、ゆっくり入浴して頂き、安心して満足感や楽しみの時間となるよう努めている。	週2～3回利用出来るが汚染の場合はその限りではない。体調に合わせて足浴、清拭の時もある。臭いを感じる際には更衣をしている。拒む方には人を変え誘導を変え時間をずらしたりしながらの入浴支援支援である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転傾向にならない程度に、ご利用者様の生活リズムや身体に配慮し、休息や気持ちよく睡眠が摂れる様に支援している。働きかけとしては、日中、皆で歌を唄ったり、毎月の壁紙作成、天気がよい日はテラスでおやつ、洗濯物たたみなどです。	昼夜逆転傾向にならない程度に、ご利用者様の生活リズムや身体に配慮し、休息や気持ちよく睡眠が摂れる様に支援している。働きかけとしては、日中、皆で歌を唄ったり、毎月の壁紙作成、天気がよい日はテラスでおやつ、洗濯物たたみなどです。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による居宅療養管理指導、及び看護職員による薬の目的、用法、用量等の把握と理解を基本に介護職員も薬剤情報やお薬ノート等で用法・用量について理解し、服薬支援と症状変化の観察に努め、支援している。	薬剤師による居宅療養管理指導、及び看護職員による薬の目的、用法、用量等の把握と理解を基本に介護職員も薬剤情報やお薬ノート等で用法・用量について理解し、服薬支援と症状変化の観察に努め、支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活のなかで、充実感や張り合い、喜びが持てる様、自尊心に配慮した声掛けにて生活の中に手伝いや利用者様同士の話しに職員も入っての談話など、1日の生活のメリハリが付くような支援に努めている。	日常生活のなかで、充実感や張り合い、喜びが持てる様、自尊心に配慮した声掛けにて生活の中に手伝いや利用者様同士の話しに職員も入っての談話など、1日の生活のメリハリが付くような支援に努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候がよい時期は外出計画を立て、昨年5月には鯉のぼり見物や道の駅での買い物等で楽しんで頂きました。それ以降は暑い時期から現状の外出自粛情勢にあり、ドライブ外出は実施していないが、気候が良い時はテラスでの昼食やおやつ、また玄関から出たの散歩や桜の花見を行いました。一人ひとりの外出支援にはなかなか到達できていません。	気候がよい時期は外出計画を立て、昨年5月には鯉のぼり見物や道の駅での買い物等で楽しんで頂きました。それ以降は暑い時期から現状の外出自粛情勢にあり、ドライブ外出は実施していないが、気候が良い時はテラスでの昼食やおやつ、また玄関から出たの散歩や桜の花見を行いました。一人ひとりの外出支援にはなかなか到達できていません。	年1～2回全員参加のバスハイクの計画がある。敷地内には桜並木があり散歩や花見等日光浴を兼ね外気にふれている。正月や御盆には外泊される方もあり、週1回家族の送迎で外泊される方もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人様やご家族様が持っておきたいと希望された時は対応している。現状、本人さまが購入希望品はご家族へ確認し、職員による買い物代行支援を行っている。ドライブ外出時は持ってあるお金で物品購入して頂いた。	本人様やご家族様が持っておきたいと希望された時は対応している。現状、本人さまが購入希望品はご家族へ確認し、職員による買い物代行支援を行っている。ドライブ外出時は持ってあるお金で物品購入して頂いた。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話・手紙については、自由にできるよう支援を行っている。携帯電話をお持ちのご利用者様も数名居られ、家族さまよりかかってくるかたりかけたりされている。手紙についても同様である。	電話・手紙については、自由にできるよう支援を行っている。携帯電話をお持ちのご利用者様も数名居られ、家族さまよりかかってくるかたりかけたりされている。手紙についても同様である。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは極力明るく、行き来(利用)しやすいように、夜間帯(21時～朝方)以外は電気を点けている。木造のため、不快さや混乱を招くような刺激はうまないように配慮している。また毎月季節を感じれる壁紙を御利用者様と一緒に作成し支援している。	共有スペースは極力明るく、行き来(利用)しやすいように、夜間帯(21時～朝方)以外は電気を点けている。木造のため、不快さや混乱を招くような刺激はうまないように配慮している。また毎月季節を感じれる壁紙を御利用者様と一緒に作成し支援している。	各ユニットの廊下には天窓があり、リビングは明るく、壁には利用者の季節の作品が飾られている。ユニットは廊下続きになっており、面会や気分転換に自由に行き来出来る。掃除は専門の方が週4日、後は職員が夜間にモップ掛をしている。通路に障害物も無く安全である。台所は両ユニット対面になっており、食事も分担して作っており、利用者の動きも視野に入れながら調理出来、食事のにおいも伝わって来る。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースでは、思い思いに過ごせる様、常時配慮行い、定期的な家具配置を変更し、御利用者様が心地よく過ごせる居場所の工夫に努めている。	共有スペースでは、思い思いに過ごせる様、常時配慮行い、定期的な家具配置を変更し、御利用者様が心地よく過ごせる居場所の工夫に努めている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの物や使い慣れたものを各自持参され、居心地よく過ごせる工夫をご家族様にも関わって頂き、支援している。	居室には馴染みの物や使い慣れたものを各自持参され、居心地よく過ごせる工夫をご家族様にも関わって頂き、支援している。	危険物以外は馴染みの物の持ち込みは自由である。テレビ、カレンダー、手芸品、写真等あり、仏壇の持ち込みもある。利用者、家族、職員と相談しながら配置を考えその人に合った居室になっている。寝具や衣類の収納も専門の方がされ整理整頓されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「できること」や「わかること」として、用具が必要であれば準備行い、見守りや助言、促しが必要時は実施し、自立した生活が送れ、自尊心や自信が保てるよう工夫している。	「できること」や「わかること」として、用具が必要であれば準備行い、見守りや助言、促しが必要時は実施し、自立した生活が送れ、自尊心や自信が保てるよう工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない